

自立活動だより

9月号

9月の自立活動だよりは、小学部の自立活動の取組について紹介します。小学部の1ブロックでは、1～3年生は「にこにこタイム」、4～6年生は「自立活動」と設定し、授業形態は個別指導または小集団での指導を行っています。2ブロックは「自立活動」で個々の課題に応じた取組を行っています。

【1ブロック高学年6年生】<人間関係の形成>

1ブロック高学年6年生では、週4時間の内1～3時間（個々により設定）を課題別学習（個別）と自立活動の「時間における指導」として設定しています。

イライラしている時に友だちや家族など周りの人に感情をぶつけてしまいがちな児童に対して、自分の思いを理解し、言葉で表現して伝えられることに取り組んでいます。また、相手がどう感じているかという意図や感情を理解し、その上でどう対応したら良いのかという方法を知り、行動できることを目指して学習しています。

指導の形態は、通常は2人で行いますが、必要があるときには1で行う場合もあります。

また、クラスでの自立活動に加え月に1回程度、自立活動室で定期自立活動相談を受けています。落ち着いた環境の中で、自分や他者の感情に向き合ったり、リラックスできる呼吸法を学習したりしています。

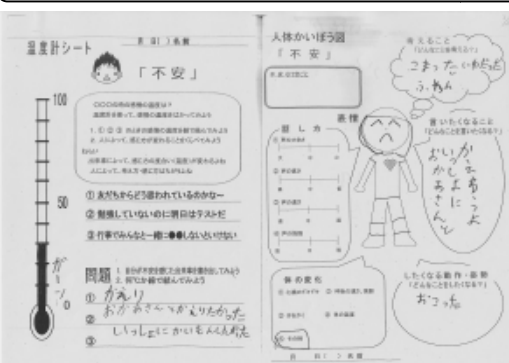
<取組内容>

① 意図や感情の理解をする



表情や状況が見て分かるイラストで、実際の場面を思い出しながら自分や他者の感情を考えていきます。自分の日常経験や友だちとのやり取りから、その時の感情をイラストの中から選べました。

② 自分の気持ちを言葉で表現する



表を使用してイラストで表情を描いたり、自分の気持ちを言葉で書き込んでいくなかで、自分の気持ちを見つめ、相手に伝えたかったことを考えます。その時は言えなかったけれど、本当は伝えたかった気持ちを書きました。

『どんまいプログラム：いろいろな文献を参考にボラリスが作成した教材』（ボラリス：和歌山県発達障害者支援センター）

③ 他者の意図や感情を理解し、行動の調整を知る



SSTのカードを使用し、いろいろな場面を想定しながら自分や他者の感情を考え「その時にどうしたらいいか」ということの経験を積みまます。実生活で同じような場面になったら、というヒントになってほしいと思います。

『ソーシャルスキルトレーニング絵カード』（ことばと発達の学習室 M、エスコアール）

【小学部2ブロック】

2ブロックでは、朝の自立活動の時間に、児童の実態に応じて、身体や認知面への取組をしています。そこで、今回はコミュニケーションの取組の一例を紹介します。

ねらい・・・自分の気持ちを伝える方法を身につけ、人に伝える経験と伝わった喜びを積み重ねることで、主体的に人に向かう力を育む。

方法・・・カードと具体物（好きなおもちゃ等）を交換し、教師と一緒に遊ぶ。

ステップⅠ ～カードを渡すとおもちゃと交換できることを知ろう～

最初は1枚のカードと1個の具体物の交換から始めました。



カード



具体物（おもちゃ）

繰り返し取り組むことで、カードの意味や活動の意図を知り、1対1対応は、スムーズにできるようになりました。そこで、ステップアップ！現在は…

ステップⅡ ～欲しい（好きな）ものカードを選んで交換しよう～

- ①教師が2枚のカードを提示します。
- ②提示されたカードから欲しい（好きな）方を選び教師に渡します。



- ③さらに、2個の具体物から選んだカードとマッチングして交換します。



家庭でもカードでのコミュニケーションに取り組んでいただいています。最近では、いくつかのカードからテレビのカードやおもちゃのカードを選び、「テレビをつけて」「ままごとしたい」とお母さんに渡しに行くようになったそうです。これからもっと言葉を増やしコミュニケーションを楽しめるように取り組んでいきたいと思っています。